

## ふじい哲也

## 活動報告書 16

## ◆ 藤井哲也 プロフィール

もちろん滋賀県大津市出身。38歳。

真野小学校、真野中学校、東大津高校卒業。中高6年間はバスケット部に所属。幼少期から世界の貧困問題に意識があり、立命館大学法学部では国際政治を専攻。一方でホームレスに至るキャリア形成もフィールドワークで調査研究。人材派遣会社の営業職として2年間勤務後、就職氷河期の若者の支援に取り組むべく2003年に起業。現在に至るまで14年間一貫して、若者の雇用問題に会社経営者として活動。

2011年に政治行政を通じて社会問題に当たる決意を持ち、大津に戻って市議会議員に当選。現在2期目。2016年からは京都大学公共政策大学院に在籍し、政策の定量評価スキルなどを学んでいます。

その他2012年消防団に入り現在「地域防災指導員」。地域では鯉のぼり祭り真野実行委員会やマノパイオニアサークル、おごと温泉パノラマウォーク、びわ湖ペーロンなども会長・役員として携わる。

2016年に自由民主党に入党。滋賀県自民党青年局の常任幹事として地域の発展のため、国・県・市のパイプ強化に取り組んでいます。

## ◎ 横顔

幼少期から現在までニックネームは「テツヤ」か「テツちゃん」。妻と長男(4歳)の3人家族。好きな食べ物はコロッケとピザ。最近読んで印象に残る本は、「How Google Works, 2014」。

## 大津市議 藤井哲也 活動報告会 2017 夏

市議会議員2期目の中間報告会を開催します。

現在の大津市政の重要課題やその取り組み状況、市民生活向上のネックである越市長の問題点、また市議会の内情や執行部との関係性などを中心に、地元・大津北部ネタもお話したいと思っています。



議員活動を通じて知り得た情報も、できる限り皆さまと共有し、1時間と短い時間ですが充実した内容にしたいと思います。

もしご興味を持って頂けましたら、参加はもちろん無料ですので是非ともお越しください！若い方や同世代の方にも多く来て頂けると大変嬉しいです。何卒よろしく願いいたします。

と き **7月29日(土曜) 16時~17時** ※受付は15時40分

と ころ 真野市民センター本館2F 大会議室

アクセス 湖西道路真野ICから車3分/JR堅田駅から徒歩25分

内 容 議員活動のご報告など

定 員 会場は100人近く入れます

そ の 他 参加費無料・事前申込み不要・どなたでもOK  
駐車スペースは約30台分です。

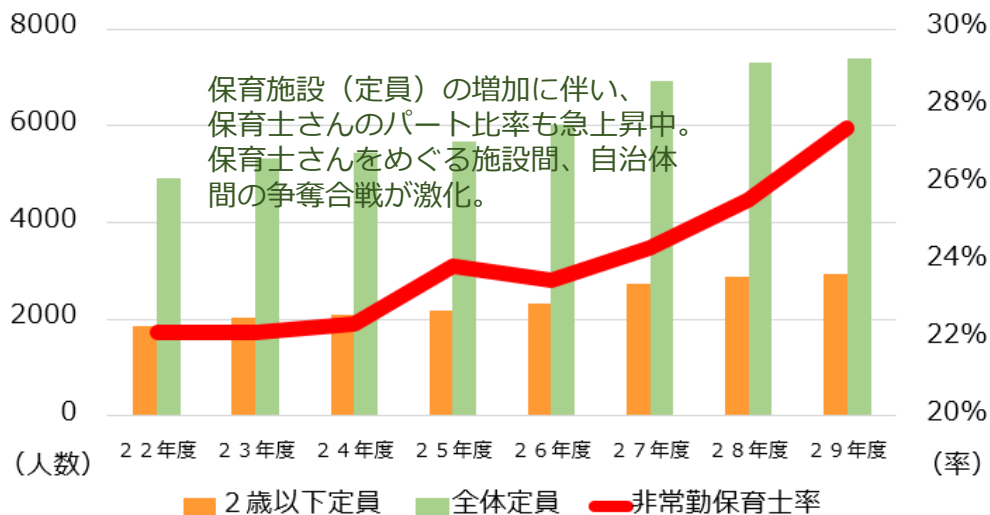
【発行・お問い合わせ】

藤井哲也後援会 大津市真野2-28-1-812 tel 070-5045-8815 mail info@fujitetsuya.jp

# 大津市議会 6月通常会議での活動

## 個人質問 保育所増設に追いついていない保育士の確保を急げ！

待機児童対策として保育施設の増設が急速に進められる一方、保育士さんの確保が難しくなっています。パート保育士さんの比率が平成26年度以降、高まり続けているのは、正職員が採用できないことの裏返しで、処遇が民間よりも良い公立保育園でさえ募集定員が集まっていない状況です。「保育の質」を維持するために抜本的な保育士確保策に取り組みようとして政策提言を行い、行政からは一定の前向きな答弁を得ました。



## 個人質問 将来を見据えた中長期の保育施設整備計画の策定を！

また、子ども人口が中長期的には減少することは残念ながら確実であり、保育施設もこのまま増やし続ければ近い将来に過剰となってしまいます。民間園の増設ではなく、公立幼稚園を認定こども園化することで、保育定員のダウンサイジング（縮減）に対応できるようにしておくなど、中長期を見据えた保育施設の整備計画が必要です。議会では、これまで全く検討されてこなかった中長期施設整備計画の策定を訴えました。

# 会派代表として討論登壇



会派の幹事長を務めており、議案採決に際して、討論（意見表明）の舞台に立ちました。

補正予算に賛成はするものの、保育の質を維持すべきこと、公園遊具の早急な修繕を求めるとともに、大津市・志賀町合併建設の変更に関する議案では起債発行の法定期限が迫る中で、確実に事業進捗させる必要性を訴えました。

また「若者の政治への関心を高めるための政策検討会議」が設置され、委員に選任されました。今後は若者との意見交換を通じて、議会が実行できる施策を検討していきます。

## 個人質問 堅田西口エリアのオープンに向けた交通安全対策を！

来年半ばの駅西口広場のオープンに向けた工事が始まるのに合わせて、本年9月に西口エリアの都市計画道路が一斉に供用開始となります。これまで地域の皆様の声を行政に届け一定の改善を実現してきましたが、道路網が再編されるこのタイミングで、改めて交通安全対策（危険箇所へのカーブミラー、停止線の設定、信号の必要性など）を本会議で求めました。行政からは大変前向きな回答を得ることができました。

## 個人質問 5人中3人が市職員という第三者委員会は大問題！！

平成23年に廃止されて以後、放置されてきた「びわ湖競輪場跡地」の利活用を行う業者選定委員会が本年設置されましたが、なんと5人の委員のうち3人が市職員（副市長、政策調整部長、未来まちづくり部長）であり、著しく独立性に欠けています。

全国でもこのようなケースは極めて稀で、例えば豊洲への公設市場を移転可否を審議する委員会に都職員が過半数を占めるようなことはありません。しかも委員長は越市長の出身事務所在籍の弁護士で市長とも在籍時期が重なっています。市長の人事権の下にいる市職員と市長の知人弁護士が行う業者選定とはどのようなものなのでしょうか？

このような市民をバカにする愚行・暴走を許しては、二元代表制度が笑われてしまいます。附属機関を隠れみのにして責任回避しようとする越市長の悪事に対して、厳しく追及し鉄槌を下しました。質問後、多くの議員や市職員から、「こんな問題があるのは知らなかった!」、「よく言ってくれた!」と評価頂く声をたくさん頂戴しました。

